

2016年
6月議会

参院選・議席倍増を力に **日本共産党** 憲法を守り生かす市政実現を!

参議院選挙では、憲法破壊を数の力で押し通す傲慢と強圧に対し、松戸でも市民と野党が手を携え、立場や党派の違いを超え、立憲主義を政治に取り戻す運動の輪が広がりました。この運動を力に、いのちと暮らしを守り、憲法が生きる「市民が主人公」の市政実現にみなさんと力合わせて頑張ります。

まつど民報
【市政報告】

2016年7・8月号
日本共産党松戸市議団
TEL 047(366)7403
FAX 047(366)5915

ご意見・お問い合わせはホームページから

日本共産党松戸市議団 検索



どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください

この議会報告は、政務活動費により発行されています



健康福祉常任委員
たかぎ けん
高木 健

詰め込み保育やめ、 保育士の処遇改善を!

市は「待機児ゼロ」を宣言しましたが、実際の待機児（入所保留児童）は143人も残されています。市は「小規模保育所を50か所作る」といいますが、施設や専門職員の配置基準が十分ではありません。認可保育所の増設こそ基本とすべきです。

同時に保育の質の改善に向け、詰め込み保育の改善、事故防止に向けたガイドラインの策定、保育士の処遇改善などを訴えました。

その他の
質問項目

- 流鉄小金城趾駅と馬橋駅のバリアフリー化を
- 市として介護の現場にもっと目を向けよ
- 『放射能対策総合計画』終了後の取り組みは



教育環境常任委員
やまぐちまさこ
山口正子

精神障害者を重度心身障害者 医療費助成制度の対象にせよ

重度心身障害者医療費助成制度の施行により、昨年8月から重度の身体・知的障害者の医療費は窓口負担がゼロになりましたが、精神障害者は対象外となっています。他市では対象としている事例も多くありますが、松戸市は「予算がなく厳しい」と答弁。「障害者差別解消法の理念に基づき、精神障害者にも制度の適用を」と強く求めました。

その他の
質問項目

- 災害発生時の①市内福祉施設等との連携体制と課題、②妊産婦と乳幼児支援の取り組み について市の現状は
- コミバスなど公共交通検討協議会に市民の声を反映せよ



建設経済常任委員
ひらた きよみ
平田きよみ

市営住宅家賃の 減免制度を拡充せよ

松戸市では市営住宅利用世帯の77%が、入居基準の中で最も収入が低い第1階層（1カ月の収入104,000円以下）となっており、この階層は減免制度はありません。市に対し「第1階層の中でも、より低い収入の世帯にも適用できるように家賃減免制度の改善を」と強く求めました。合わせて階段の手すり設置など住環境改善を訴えました。

その他の
質問項目

- 小中学校の部活動と教職員の多忙化の関連は
- 中学の制服・鞆など指定品の必要性和費用負担について
- 誰もが利用しやすい21世紀の森と広場へ



総務財務常任委員
うつのしろう
うつの史行

市長は公約を守り、国民 健康保険料の引き下げを

市長は選挙で国保料の引き下げを約束しましたが、当選後6年間で実現していません。6年分のデータを分析すると、松戸市民は医療・介護にかかる費用は安いことや、不況の影響が深刻で、他市に比べ所得が大きく減っていることが分かりました。「費用が安いなら保険料も安くできるはず」「市民の期待に応え、国保料引き下げを」と求めました。

その他の
質問項目

- 八柱駅から新市立病院へのバスルート確保を
- 生活保護者の介護サービス利用について
- 東松戸地域に児童館増設を
- 特別支援学級の増設を
- 違法なパチンコ出店は規制を



建設経済常任委員
たかはし まみ
高橋たえ子

子どもの権利条約を生かした 「子どもの貧困対策」を

貧困と格差が進むもとの、子どもの6人に1人が貧困状態にあることが社会問題になっています。「松戸市においても放置できない問題だ」との指摘に対し、市は「子どもの未来応援チームを立ち上げた」と答弁。「市内の子どもたちにも、『給食が唯一の食事』などといった実態が生じている。子どもの権利条約を生かした支援を」と強く求めました。

その他の
質問項目

- 松戸駅周辺まちづくりは住民の参加で
- 外郭環状道路周辺の景観や交通対策を
- 松戸市の大規模災害の備えについて
- 放課後児童クラブの大規模化解消と支援員の処遇改善を

松戸新田
和名ヶ谷

違法なパチンコ出店は ストップを!

子育て世代が多く住むマンションが林立し、保育園、小中学校、3つの病院、公設市場と消防署が立ち並び真ん中に、巨大パチンコ店計画が持ち上がりました。日本共産党は、「パチンコ店は病院から70m以上離す」という風営法に違反（現状は、病院との距離は約35m）していることや、違法な「換金小屋」の建設計画を明らかにし、問題を追及しました。

地域では住民が「会」を結成、3000筆の反対署名を集め、市長に提出、県議会では「風営法違反を許さない」という請願が採択されました。建設の承認を出した市長に対し「パチンコ店だらけのまちづくりでよいのか」が厳しく問われています。



